



と しょ しつ 図書室だより



令和5年度 第1号 2023年6月
座間市立 立野台小学校 図書室

たつのだいしょうがっこう 立野台小学校 のみなさんが入学・進級 にゆうがく しんきゅう して早くも2か月がすぎましたね。4月と5月には 1年生は「としょしつは どんなところ?」、2年生は「図書館たんけん」、3年生は「図書館たんていだん」、4年生は「図書館の達人になろう」という勉強をしました。5年生・6年生のみなさんも、図書室・図書館で おもしろい本をどんどん見つけて楽しみましょう。



あめ きせつ 雨の季節に おすすめの本を しょうかいします。



『かえるのかさやさん』 戸田和代/作
かえるの かさやさんには なかなか おきやくさんが きません。 やっと きてくれた おきやくさんは「かさを かいに きたんじゃなくて」と いいますが…。



『みずたまのたび』 アンヌ・クロザ/さく
「わたしは ちいさな みずたま。」 ネコが みず 水をのんだパウルのそこに一つぶのこった “みずたま”が旅に出かけます。とてもおおいところ、とてもたかいところ、ものすごくふかいところで、“みずたま”が見たものは…。



『パンダのポンポン 青空バーベキュー』 野中 柊/作
「ずっと雨ばかりだよ」「雨じゃなくて、アメだったら…」 食いしんぼうパンダのポンポンは、雨のきせつを なかまたちと どう やって楽しくすごすでしょうか。



『気象予報士と学ぼう! 天気のみほんがわかる本3 雨・雪・氷 なぜできる?』
雨はどうしてふるの? 梅雨の時期、空の上では何が起きているの? 写真や絵がたくさんあっていてわかりやすい本。

武田 康男/監修



『雨ふる本屋』 日向 理恵子/作
「ここにある本はね、人間にわすれられたものがたり」と、それから雨でできているのよ。」 “雨ふる本屋”に迷いこんだルウ子のふしぎな冒険のお話。



『雨の恐竜』 山田 正紀/作
ある日、先生がつり橋から恐竜に突き落とされたらしいと聞いたヒトミたちが起こした行動は…。恐竜化石のメッカと言われる町で起きた 奇想天外な事件をめぐるミステリー。

ほん 本を かえす日を まもりましょう。



図書室の本をかりられるのは1週間です。

たとえば、木曜日にかいた本は、次の木曜日までにカウンターで返す手つづきをしてください。

次に読みたい人のためにも、ルールをまもりましょう。



ほん しらべる本のコーナーの本が ふえました



とっかつしつ 特活室の しらべる本のコーナー (0 総記-図鑑・辞典など) に

ねんかん 年鑑などが ふえました。新しい じょうほうを しらべたいときに 活用してください。

(これまで ねんせい コーナーなどに あったものを 1か所にまとめました。)

ねんかん 年鑑とは?…その年の社会のできごと・統計などをまとめて、毎年一回出す本

(新レインボー小学国語辞典より)

うらめん 裏面に 新しく届いた ほん 本 の一覧表があります。